

東日本旅客鉄道労働組合

東京都渋谷区代々木2丁目2番6号

JR新宿ビル13F 〒151-8512

Tel. 03-3375-5740 (代)

発行責任者 古川 建三

JR東労組

本部OB会

ニュース

No. 221 2015年 11月発行

2015年秋・JR東労組OB会幹事会・地本OB担当者合同会議

現退でたしろ応援を意志統一!

前半期の経過を承認し、当面する取り組みを確認する



合同会議で挨拶する古川OB会々長

急速に発達した低気圧の影響で全国的に悪天候となった10月2日、13時よりJR東労組本部大会議室で「2015年秋・JR東労組OB会幹事会・地本OB担当者合同会議」が開催されました。
この合同会議は、本部OB会の幹事と各地本のOB担当者が必要に応じて集まり合同で開催されているもので、今年も昨年に引き続き開催されました。
合同会議は、参加した各地本OB担当者から選出された幹事が全員意見発表するという画期的な会議となりました。

座長には森OB担当中執が

合同会議は、佐々木本部OB会副会長の司会で始まり、座長に森OB担当中執を選出して進められました。最初に挨拶に立った本部OB会の古川会長は、8月に開催された「ブロッコリー別地本OB会三役会議」で議論された内容を総括し、今秋行われる「沖繩と連帯する旅」への協力を訴えました。

続いて中央本部を代表して奥山副委員長は、鬼怒川の堤防決壊で甚大な被害

現退全員から意見発表

合同会議はその後、本部OB会の伊藤事務局長から「本部OB会定期総会」以降の半年間の経過報告と、当面する取り組みの具体的な内容が提起された以降、参加者による自由討論に入りました。
討論では「たしろ応援プロジェクト」の取り組みや、沖繩の県民と連帯する取り組み等を中心にして活発な意見が出されました。

特に今回の会議では、従来の合同会議と違って、各地本のOB担当者の発言から始まり、全12地本の現役の取り組み状況が発表されました。
続いて各地本のOB会選出の幹事からも「OB会の取り組み」の報告があり、今後現職とOBが更に連携を密にして、実のある取り組みを行って行く事が意思統一されました。

害が出た茨城県の常総市に、本部役員がボランティア活動に行つて来た事を連日取り組んできた報告がありました。
そして「たしろかおる応援プロジェクト」で行っている現役組合員の取り組みの報告があり、OB会に対しても最大限の協力をお願いがありました。

エルダーと本部役員との意見交換会

- ◆ 日時 2015年12月15日(火) 13時
- ◆ 場所 JR東労組本部・大会議室
- ◆ 参加者 各地本エルダー組合員 2名
各地本エルダー担当者 1名
本部OB会役員 全員

「我らの声」(第17号)原稿募集

◇ 募集期間 2015年12月1日より
2016年1月31日まで

作品は1人1編で、1600字以内とします。
なお、写真を必ずつけて下さい。
特に初めての方や、「俳句」「川柳」は大歓迎です。
作品は、必ず各地本OB会に提出して下さい。



西関東ブロック交流会報告 今年も講演を 聞いて交流深める

10月3日、西関東ブロック(横浜・八王子・大宮)3地本OB会の交流会が、大宮総合車両センター講習室で、約60名の参加者で開催されました。

今年も戦後70年ですが、「平和安全法制整備法案」などの戦争法案が国会で成立し、日本は今歴史的な分岐点に立たされています。そうした危機的な状況下で、今年の3地本OB会の交流会は、帝国主義教育によって軍国少年としてその時代を過ごし、陸軍特攻隊兵士として終戦を向かえた「沖松信夫」さんから講演を頂きました。

沖松さんとは大宮地本OB会の橋詰会長が埼玉県高退連總會の席上で知り合い、その後交流を深めていました。卒寿(90才)を向かえてもなお「命続く限り反戦を訴える」沖松さんは、2年ほど前から地元中学校や高校で、平和と命の大切さを訴える講演を

しています。

その様な経歴を持つ沖松さんの講演は、軍備亡国に向かいつつある安倍政権下で、「生涯労働者」の気概を持って、今後どのような活動をしていくのか私たちOBに多くの教訓と勇気を与えてくれました。

場所を変えた交流会では、講演を聞いての感想や、安保法廃止に向けた熱い会話が飛び交い、今後の平和活動への思いを共有し、親交を深めることができました。また来年「元気に合いましょう」と約束して、交流会を終了しました。



「横浜・八王子・大宮」3地本OB会
講演&交流会

高崎

10月17日、小雨降る中、山好きな男達総勢21名が高崎駅上信電鉄ホームに集合し、「上野三碑(こうずけ三び)」のうち二碑を歩くハイキングを行いました。

群馬県は昔上野(こうずけ)の国と呼ばれ、国内に現存する平安時代以前の古碑・古塔20例の内、高崎には三つも集中しており歴史的にも貴重とされ、国の特定史跡に指定されています。

コース地図を見ながら駅前の山名八幡宮で、ハイキングの安全と「たしる応援プロ」の取り組みの成功を祈願してから入山、山上碑を目指しました。山城址、根小屋城址と進むうちに雨もやみ、目的地の金井沢碑に到着、おにぎりをバクつきました。もう一つの碑は、上毛かるたにも謳われている「昔を語る多胡の古碑」の多胡碑です。

今回見たそれぞれの碑は、丈夫な建物に守られ、今後1000年は立ち続けることとでしょう。来年は、もっと多くの会員が参加できるように計画します。

各地で秋レク

山

10月24日15時から郡山市内の三松会館で、郡山支部OB会と郡山総合車両センター支部OB会合同による「懇親会」が、16名の参加者によって開催されました。

東京・大宮両地本OB会が 合同会議開催

10月19日大宮ソニックセンターで、東京と大宮の69名のOBが合同会議を開催しました。この会議は、両地本で発生した「組織問題」を話し合い、たしる応援の取り組みに総決起しようとして企画されたものです。

この日の参加者は、郡山支部OB会からは9名、郡山支部OB会からは7名で、その中には郡山出身の古川

古川本部OB会長は、松崎明氏の遺志を引き継ぐ本部の「松明塾」の取り組みを支持する事を述べました。

本部OB会長や、エルダーになった鈴木支部委員長も顔を見せて下さいました。懇親会では、郡山支部OB会が独立して結成されたのが刺激になり、その後「組織拡大」に繋がったことや、来年は楽しいレクリエーションをやって大勢の会員を集めようと、夢が膨らむ会話が飛び交い、楽しい懇親会と成りました。

宇都宮支部伊藤書記長は、仲間との議論から得た教訓を武器にたたかう決意を述べ、上野支部OB会の稲月会長も、「メール問題」について笑いを交えて報告しました。会議終了後は、懇親会を開きました。

わが町の 有名人

横浜地本OB会

今月は、横浜地本OB会の二宮節雄さんを紹介いたします。

通称「節ちゃん」は、横須賀線の電車運転士をしていた頃から家族でオーロラ見物を始め、海外旅行によく出かけっていました。

ある時、飛行機が遅れて海外から突然「仕事を休む」と突発の電話をしてきた有名な話もある程です。今はタイやラオスの恵まれな

世界を股に掛ける 節ちゃん!

「節ちゃん」の国際貢献の手助けをしていました。

ある日、節ちゃんに「どこに泊まるの?」と尋ねたら「野宿だな」と聞かされた時や、奥さんと節ちゃん



の周りには、いつも話題が

尽きません。

(大磯町在住・二宮 節雄・65歳)

JRバス関東本部OB連絡会が 定期総会を開催する

10月26日13時より、JR東労組本部会議室で「JRバス関東本部OB連絡会第6回定期総会」が開催されました。

総会には、水戸、土浦、伊那、小諸、館山、八日市場、西那須野、東京の代表者ら総勢22名が参加し、議長に越川氏を選出して始まりました。

主催者を代表して葛原事務局長は、「鈴木会長が欠席なので代わりに挨拶する」と前置きした上で挨拶しました。

来賓には、中央本部から奥山副委員長、バス関東本部から遠山議長、小泉副議長、東河事務局長、本部OB会から伊藤事務局長と川崎事務局次長が参加しました。

総会では、「会長には、出席して欲しかった」、「OB会加入には、現役も関わって欲しい」等の意見が出された後、一部規則の改正を行った後、新役員を選出して終了しました。

- 新しく選出された役員の方皆さん
- | | |
|----------------|---------------|
| 会長 石塚 広美(水戸) | 副会長 上原 隆(伊那) |
| 副会長 来栖 健一(宇都宮) | 事務局長 中島 諭(東京) |
| 々 越川 信吾(八日市場) | 事務次長 |
| 々 葛原 英世(東京) | 小泉 聡(バス関東本部) |